



啓発タオルの配布、啓発のぼり旗・横断幕の設置

啓発タオルの配布は、役場本庁舎内や各施設などで行います。啓発のぼり旗・横断幕は各地域に設置します。

← やすらぎ館(伊方)に設置された横断幕(令和3年度)

福智町の児童・生徒たちの人権作品を展示

福智町の小・中学校、義務教育学校の児童・生徒たちが制作した、人権作品を下記の施設で展示しています。

- 金田分館：金田義務教育学校
- 中央公民館：上野小学校
- 方城分館：伊方小学校／弁城小学校／方城中学校
- 図書館ふくちのち：市場小学校／赤池中学校



↑ 図書館ふくちのちに展示された人権作品の様子(令和3年度)

人権作品の問合せ先：福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0947-22-1521



お互いを思いやり 認めあう だれもが輝けるまちを目指して
「第3次福智町男女共同参画基本計画」ができました

福智町では、性別にかかわらず、互いに人権を尊重し、喜びや責任も分かち合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し計画を策定しました。

基本目標 1

誰もがともに支え合い活躍できるまちづくり

1. 雇用の分野における男女共同参画の推進
2. 仕事と家庭との両立支援
3. 地域・家庭・社会活動における男女共同参画の推進
4. 町の政策・方針決定の場における女性の参画の拡大



基本目標 2

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

1. 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援
2. 誰もが安心して生活できる支援の充実
3. 生涯を通じた男女の健康保持



基本目標 3

男女共同参画実現に向けたまちづくり

1. 男女共同参画社会実現に向けた男女双方の意識啓発
2. 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進



7月は同和問題啓発強調月間です

7月1日(金) → 7月31日(日) human rights

同

和問題は、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、日常の様々なところで、差別を受けてきた日本固有の問題です。この問題の解決を図るため、教育、啓発、地域改善対策などを行ってきました。しかしながら、同和問題をはじめとする様々な人権問題の発生が依然として後を絶ちません。

近

年では、インターネット環境の整備やスマートフォン等の普及により、ネット上で部落差別を助長するような悪質な書き込みなどが行われています。インターネットは、情報発信が容易な反面、誤った情報も氾濫しています。また、匿名性が高いため書き込み内容が過激になる傾向があります。

現

在でも同和問題は色々な形を変えて存在しています。あなたの周りにも、気が付かないだけで、人知れず苦しんでいる人がいるかもしれません。だからこそわたしたちが、同和問題をひとりひとりの問題として捉え、「もし、自分が相手の立場だったら」と考えることが大切なのではないでしょうか。「知らない」では、知らず知らずのうちに差別をしていることさえ気が付かなくなりません。正しい知識、正しい認識を理解し、どうしたら「差別を許さない社会」に変えていけるかを一緒に考えていきましょう。福智町では、引き続き、同和問題解決に向けて様々な人権教育・啓発活動に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月の「同和問題啓発強調月間講演会」は中止といたします。

問い合わせ先：福智町役場 人権推進課 ☎ 0947-22-7764